

産学連携から産学共創へ



夢はバラ色

吉川 秀樹*

From Industry-University Collaboration to Co-Creation

Key Words : Industry on Campus, Internship on Campus, Co-Creation

平成23年4月に設置された大阪大学産学連携本部は、大阪大学のモットーである「地域に生き世界に伸びる」に従い、本学の卓越した研究成果と国内外の産業界との連携を推進し、「大学の発展」「企業の発展」のみならず、「社会の発展」に寄与することを目指しております。これまで、産学連携本部は、大学内に産業創出拠点を導く「Industry on Campus」構想を掲げ、テクノアライアンス棟を拠点に、全国に先駆けて「共同研究講座」や「協働研究所」を設置し、産学連携活動を行ってきました。平成29年4月には、共同研究講座49件、協働研究所12件に発展してきました。また、平成27年7月には、国立大学法人による出資事業の第1号となる大阪大学ベンチャーキャピタル(OUVC)による投資ファンドをスタート致しました。これにより、政府が推進する「官民イノベーション」の実現にも積極的に取り組んでまいりました。さらに、未来を見据えた産学連携の姿として、平成29年度の文部科学省概算要求において、産業界や国・自治体、市民とともに組織的な産学共創をオープンイノベーションで行う「場」を大学に設置し、学内に対しては部局横断的に企画・マネジメントを行う「産官学民共創イノベーションブリッジ拠点」の構築を掲げ、採択されました。これらの取組みを進化させるために、平成29年4月に、産学連携本部は産学共創本部へと生まれ変わりました。

産学共創本部では、「個」対「個」の産学連携にとどまらないネットワーク型の産学共創の拠点となるべく、構成員一丸となって社会イノベーション創出のための環境を整えていきたいと考えております。以下に、産学共創本部に新たに設置しました4部門を紹介させていただきます。

【イノベーション共創部門】

基礎研究段階からの包括的な社会との共創を目指し、社会課題(共創テーマ)の探索と学内シーズとのマッチングをはじめとする組織的な産学共創に取り組みます。即ち、産学連携の実施主体は各部局ですが、部局とのコミュニケーションにより産学共創本部が様々な形で支援し、本部は各部局の実施能力を最大限に発揮できるような事業を拡充していくことを基本とします。産学共創本部が、各部局の懸け橋となる一元化窓口として、共創テーマの探索、複数部局が関与できる(主役となる)共創テーマの確立・実施を行い、最終的には「組織」対「組織」の共同研究講座や協働研究所の設立に繋げていきます。

【テクノロジー・トランスファー部門】

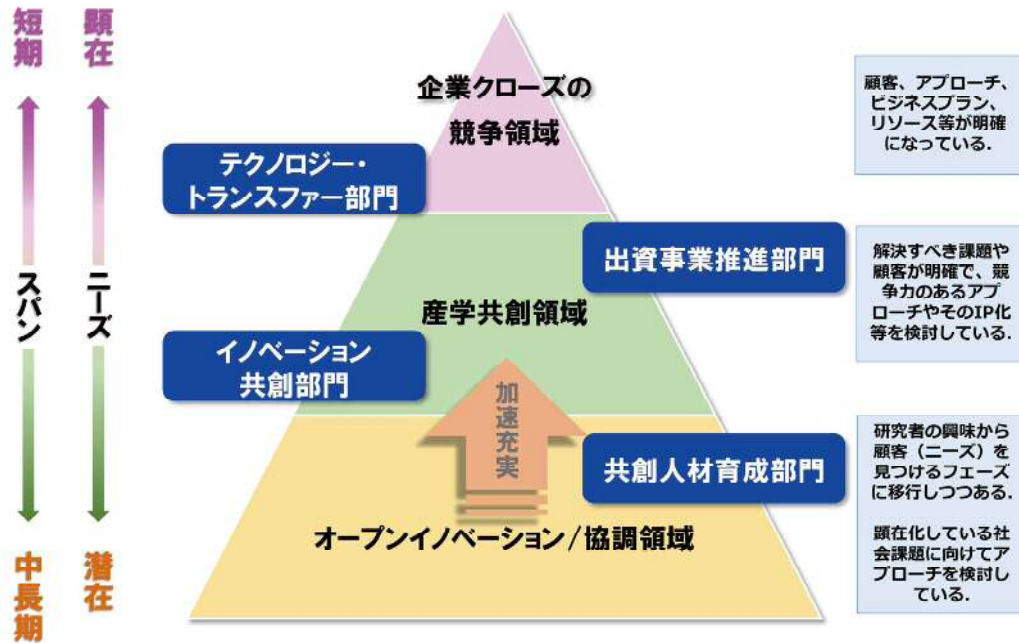
社会的・経済的価値の最大化の理念のもとに、短期的な視点のみならず、長期的観点から我が国のイノベーション創出や社会実装に結実させることを見据えて、本学の最先端技術シーズから創出された知的財産を戦略的に管理・活用することが必要です。また、産業界を含めた社会との共創テーマから生まれた研究成果を取り扱う知的財産マネジメントにおいては、共創に関与・貢献した者による優先的な成果活用を図ることにより、社会からの未来へ向けた投資インセンティブを確保できるようにします。また、本学発ベンチャーに関わる知的財産マネジメントにおいては、一般的な手法の枠に捉われない工夫が必



* Hideki YOSHIKAWA

1954年9月生
大阪大学医学部医学科(1979年)。1999年より大阪大学整形外科教授。2012年より大阪大学医学部附属病院長。
現在、大阪大学理事・副学長(産学連携、病院運営担当)
TEL : 06-6879-4062
E-mail : yhideki@ort.med.osaka-u.ac.jp

産学共創本部 各部門のターゲット



要で、当部門では、知財活動計画や長期的知財戦略の策定と共有化、技術移転業務を推進したいと思います。

【共創人材育成部門】

大学と企業が共創する最先端の研究開発活動の場で実践的な人材育成を行う「Internship on Campus」や「Internship on Venture」を含む産学共創実践型教育システムの構築を行います。共同研究講座・協働研究所を活用した新たなインターンシップの仕組みを構築するなど、社会と大学の垣根を超えたイノベーション共創人材の育成拠点となります。これまで取り組んできました学外連携事業をさらにブラッシュアップし産業界とのネットワークを充実させ、新しい産学共創の場づくりを目指します。以上の取組みを有機的に連携させることにより、イノベティブな人材を育成し、産学共創の場でアクティブに学び、学外ネットワークを有効活用し社会ニーズを先取りし新しい価値を創造するイノベーションエコシステムの構築に寄与したいと考えています。

【出資事業推進部門】

出資事業（官民イノベーションプログラム）の活用により、大阪大学を中心としたイノベーションエコシステム（イノベーションを軸とする好循環）の構築を目指します。これまで、官民イノベーションプログラム事業を推進してきました「共同研究・事業化グループ」を、本格的に産学共創本部の下に置きました。ここでは、特別運営費交付金を活用した、国から課されている出資事業に係るKPIに対応するため、人材育成を含む、エコシステム構築や、研究成果の事業化を目指すシーズ発掘や阪大発ベンチャーの育成、事業化支援を実施していきます。具体的には、平成28年10月に二つの学内グラント（1）起業シーズ育成グラント（期間1年、250万円/件）：ベンチャー起業を前提として、事業化ニーズに合致した実証研究を行うための助成金（2）起業プロジェクト育成グラント（期間1～2年、1000～2000万円/件）：ベンチャーを起業し、投資を獲得する条件を満たすための実用化開発と起業チームを組成することを目的とする助成金、を設置し、段階的なプロジェクト育成を行っています。

大阪大学産学共創本部は、今後も引き続き、阪大発の革新的なイノベーション創出に寄与するため、新たな研究シーズの発掘、イノベーション人材の育成、知的財産の管理・運用、研究拠点の形成、グローバ

ルな産学連携などに貢献したいと考えています。引き続き皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

産学共創本部によるベンチャー創出に向けた共創

